

千葉県認知症 サポーターフォローアップ講座 カリキュラム

大項目	中項目	小項目		
1 日目		5 時間		
認知症の人の理解と対応	1、 講座の目的  10 : 00～10 : 20 (20 分)	1) オリエンテーション  2) 講座のねらいについて理解 ① 身近な地域の認知症対策 ② 暮らしやすい地域づくり ③ 認知症サポーターの役割	5 分  5 分 5 分 5 分	
	2、 認知症の基礎知識  10 : 20～11 : 00 (40 分)	1) 認知症の原因となる病気を理解する ①代表的な 3 種類の認知症の特徴 ②血管障害 (脳内) の認知症 ③他の病気や薬の影響で認知症状を表すもの  2) 認知症の症状について 中核症状と行動・心理症状の図  3) 認知症の人の特徴的な心を理解する ① 記憶障害 ② 見当識障害 ③ 理解・判断力の障害 ④ 実行機能障害 ●演習 : 中核症状の事例を知る	2 分 5 分 3 分 3 分  2 分 5 分  2 分 3 分 2 分 3 分 10 分	
	休 憩		10 分	
	3、 認知症の人を理解するための基礎知識  11 : 10～12 : 00 (50 分)	1) 認知症ケアの基本となる思いや考え方 ①最近の認知症ケアの基本的な考え方 ②認知症の人のケアは清潔や安全が中心 ●演習 : 自分が認知症の人だったら?  2) 認知症の人の尊厳について考える ① 尊厳とは ② 尊厳を考えていない身近な例 ③ 尊厳を考え配慮されている例  3) 認知症の人の対応の心得 ① 3つの” ない “を理解する ② 具体的に対応するための 7 つの心得	2 分 2 分 10 分  3 分  3 分 5 分	

		4) 家族介護者の思いを知る ●演習:家族介護事例を考える (認知症介護をしている家族の気持ちを知る)	5分 20分
昼食休憩 60分			
認知症ケアにおけるコミュニケーション	1、コミュニケーションの基本  13:00~14:00 (60分)	1) ふれあい (コミュニケーション) とは ●演習:あなたの親しみやすさを伝えます	5分 25分
	休憩 10分		
	2、認知症の人の気持ちに合わせたコミュニケーション  14:10~15:00 (50分)	1) 認知症の人の気持ちに合わせる会話  2) 聴き上手になる ●演習:事例会話で聴き上手を体感	15分 5分 30分
	休憩 10分		
	3、認知症の人の症状に応じたコミュニケーション  15:10~16:00 (50分)	1) 症状出現に影響する要因 ① すべての認知症の人に見られる中核症状 ② 誰にでも起こるとは限らない行動・心理症状 ③ 症状が見られる人の気持ちに立って考える  2) 認知症の人のストレスにつながらない対応  ① 記憶障害による物忘れを責めない ② 見当識障害による不安を解消する ③ 実行機能障害にはさりげない手助けの対応  ●演習:事例を考えましょう (ごめんなさい、いつも申し訳ないですというBさん)	5分   5分 5分 5分 30分

大項目	中項目	小項目
2 日目 5 時間		
認知症の人と生活環境	1、 認知症の人の生活の場を考える  10 : 00～10 : 15 (15 分)	環境が生活へ与える影響 ① 人的環境 5分 ② 住居環境 5分 ③ 社会的環境 5分
	2、生活支援の方法 A  10 : 15～10 : 50 (35 分)	1) 特徴ある症状の見られる方への生活支援 ① 体験全体をすっかり忘れる 5分 ② 自分が置かれている状況がわからない 5分 ③ 出来ていたことができない 5分 ④ 上手く話せない、言葉が思い出せない 10分 ⑤ 妄想 5分  2) 認知症の人のペースに合わせる重要性を理解する 5分
	休 憩 10 分	
	2、生活支援の方法 B  11 : 00～11 : 50 (50 分)	1) ふれあい体験について ① 心がまえ 10分 ② ふれあい体験を行う場を知る 10分 ③ 課題を考える 30分
昼 食 休 憩 60 分		
認知症高齢者とふれあい体験	1、ふれあい体験を行う  12 : 50～14 : 50 (120 分) 休憩 10 分含む	ふれあい体験前の再確認 ・ふれあい時のマナー ・困ったら現場のスタッフに遠慮なく聞く ・自分の特徴を整理した内容を心に忘れずに  ふれあい体験
	休 憩 10 分	
	2、講座受講のまとめ  15 : 00～16 : 00 (60 分)	1) ふれあい体験を振り返る 30分  2) 2日間の講座のまとめ 30分 ① 2日間の講座受講の成果 ② これからのサポーター活動について